

平成 30 年 5 月 1 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K04305

研究課題名(和文) 国立大学における経営計画の策定とIRによる支援のあり方に関する実践的研究

研究課題名(英文) Practical study on formulation of management plan at national university and how to support by IR

研究代表者

高田 英一 (Takata, Eiichi)

神戸大学・評価室・准教授

研究者番号：60336039

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、国立大学の中期計画を対象として、内容や進捗管理の課題に関する研究を行った。また、IRによる中期計画の策定の支援の実践を行い、その成果を検証した。また、国立大学における中期計画の策定に対するIRの支援の状況に関する実態調査を行い、現状と課題を把握した。また、IRによる計画策定に対する支援のあり方を検討した。さらに、研究成果をもとに、計画策定の支援等を行う人材育成プログラムの開発を行った。

研究成果の概要(英文)：In this research, we conducted research on content and progress management issues for the national university's medium term plan. We also implemented support for the formulation of a medium-term plan by IR and verified the results. In addition, we conducted a survey on the status of IR support for the formulation of the mid-term plan at national universities and grasp the current situation and issues. Also, I examined how to support the plan formulation by IR. Furthermore, based on the research results, we developed a human resource development program to support planning.

研究分野：教育社会学

キーワード：IR 中期計画 国立大学 人材育成

### 1. 研究開始当初の背景

我が国の大学が直面する多様かつ急激な環境変化に対応するためには、明確な目標を定めたマネジメントが必要であり、その実現には、データに基づく適切な経営計画の策定と実行の進捗管理が必須である。特に、国立大学は、中期計画・法人評価を通じた経営改善が強く求められているが、大学の実態を踏まえた計画の策定及び IR による計画策定の支援の手法は確立されていない状況であった。

### 2. 研究の目的

上記の状況を踏まえて、本研究では、国立大学の中期計画を対象として、国立大学の中期計画の実態調査、及び、中期計画の策定に対する支援の実践等を通じて、その現状と課題を検証し、もって、我が国の国立大学の計画策定と IR による支援のあり方を明らかにすること、計画策定の支援等を行う人材育成プログラムの開発を行うこと等を目的とした。

### 3. 研究の方法

平成 27 年度は、文献調査や第 2 期の中期計画の進捗管理の検証を行った。また、研究代表者・研究分担者の所属する国立大学において、第 3 期の中期計画・年度計画の策定の支援を実践した。さらに、「IR 人材育成プログラム」(九州大学、大学院生対象、5 科目 2 単位)、教職員の評価・IR 能力の向上を目的とする研修「SD セミナー」(九州大学)等に研究成果や実戦経験を活用した。

平成 28 年度は、前年度の中期計画策定の支援等の実践の検証とともに、国際交流、学修成果等の分野における第 3 期の中期計画を素材として、ロジックモデルの枠組みを元に、中期計画の課題の分析を行った。

平成 29 年度(最終年度)は、国立大学の計画担当理事に対するアンケート調査を実施し、IR による中期計画の支援の現状と課題を調査するとともに、そのあり方を検討した。また、これまでの研究成果を踏まえて、IR 人材の育成を目的とする「IR 集中講習会」(平成 30 年 1 月 30 日、東京国際フォーラム、66 名参加)を開催し、事後実施したアンケート調査では好評との結果が示された。

### 4. 研究成果

研究期間全体を通じて、中期計画の現状と課題、IR の支援のあり方を検討し、支援を実践し、その結果の検証を進めた。

平成 27 年度の検証の結果、中期計画と年度計画の間の策定主体の違い、策定の視点等の齟齬が進捗管理に支障を生じさせている等の中期計画の課題が明らかになった。

平成 28 年度の検証の結果、現在の中期計画にはインプットに関する記述が多く、現在、重視されているアウトカムに関する記述が少ない等、経営に関する学内コミュニケーション

を促進と目標共有のためのツールである経営計画としての課題が明らかになった。

平成 29 年度の調査の結果、IR に対する中期計画の策定支援のニーズは大きい、実際に支援を行っている IR は少数に留まること、現在 IR が行っている支援と今後期待される支援にはずれがあること等の課題が明らかになった。

以上のような研究成果を、研究代表者・研究分担者の所属する国立大学において、IR による計画策定の支援の実践に活用してきたが、依然中期計画には課題が見受けられる。このため、引き続き、中期計画策定の支援の実践と研究を通じて、IR の支援手法の改善を図る。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 20 件)

(1) Tetsuya Oishi, Noriko Kuwano, Eiichi Takata, Masao Mori, Reminder effectiveness on two web questionnaire surveys for students, International Journal of Institutional Research and Management, 査読有, Vol. 1 No. 2, 2017, 1-16

(2) 森雅生, Institutional Research と大学, 情報の科学と技術, 査読有, Vol. 68 No. 3, 2018, 86-91

(3) 豊増佳子, 森雅生, 川口孝泰, 看護系大学の Web 上シラバスにおける遠隔看護関連用語出現状況の実態調査, 東京情報大学研究論文集, 査読有, Vol. 21 No. 2, 2018, 97-104

(4) 関隆宏, 公的集計データを用いた大学間比較ことはじめ 新潟大学の事例から, 第 6 回大学情報・機関調査研究集会論文集, 査読有, 2017, 20-25

(5) 大石哲也, 桑野典子, 高田英一, 関隆宏, 森雅生, 関口正司, 日本の国立大学における経営計画の課題と IR による支援のあり方について グローバル化に関する中期計画を中心に, 第 6 回大学情報・機関調査研究会集会論文集, 査読有, 2017, 8-13

(6) Tetsuya Oishi, Eiichi Takata, Noriko Kuwano, Takahiro Seki, Masao Mori, Masashi Sekiguchi, How can IR Support the Management of Japanese National Universities on the Mid-Term Plan Related to Globalization?, Proceedings of The 17th Annual SEAIR Conference, 査読有, 2017, 303-309

(7) Tetsuya Oishi, Eiichi Takata, Takahiro Seki, Masao Mori, The Results of a Questionnaire Survey about the Present Situation and Problem of Drawing Japanese National Universities Management Plans up by Support of IR, The Seventh Edition of the International Conference New Perspectives in Science Education, 査読有, 2018

(8) 高田英一, 森雅生, 関隆宏, 大石哲也, 川辺聡史, 教育の内部質保証に対する IR による支援の現状と課題 国立大学に対するアンケートを基に, 大学評価・学位研究, 査読有, 19, 2018, 67-80

(9) 高田英一, わが国における IR 人材の現状と課題 - 国立大学の状況を中心に -, 情報の科学と技術, 査読有, 68(3), 2018, 99-104,

(10) 高田英一, 大学評価に関する国立大学における広報・情報公開の動向-中期計画を中心に -, 広報研究, 査読無, 22, 2018, 175-183

(11) 森雅生, IR の視点からのオープンサイエンスへの期待, 情報知識学会誌, 査読無, Vol.27, No.4, 2017

(12) 小柏香穂理, 杉原亨, 金川久美子, 北中佑樹, 野口和久, 相原総一郎, 森雅生, 廣川佐千男, ディプロマ・ポリシーと学長・学部長訓示に見る教育の質保証 地域に着目した分析, 第 24 回大学教育研究フォーラム論文集, 査読無, 2018

(13) 高田英一, 須釜明日香, 桑野典子, 国内の研究大学における入学者の地域別動向について, 大学職員論叢, 査読無, 5, 2017, 67-76

(14) 高田英一, 日本の大学における内部質保証に関する IR の取組の現状 内部質保証の実態調査を基に, 大学評価研究, 査読有, 15, 2016, 1-11

(15) 高田英一, IR の目的と取組 九州大学等の事例を踏まえて -, IDE 現代の高等教育, 査読無, 586, 2016, 46-49

(16) 高田英一, 大石哲也, 森雅生, 大学における IR を目的とするデータベースの運用の現状と課題 - 国立 A 大学の「大学評価情報システム」の事例を中心に -, 教育情報研究, 査読有, 31, 2016, 51-60

(17) Tetsuya Oishi, Masao Mori, Eiichi Takata, An Environment to Co-develop Informational Systems for IR in Japan,

Information Engineering Express (IEE), 査読有, Vol2, No1, 2016, 55-64

(18) 森雅生, 大学経営の鍵となる IR, ECO FORUM, 査読有, ol.31, no.2, 2016, 10-19

(19) 関隆宏, 今井博英, 小田美奈子, 「新潟大学ファクトブック 2015」の作成について, 大学評価と IR, 査読有, 5, 2016, 44-52

(20) 高田英一, 森雅生, 大石哲也, 大学の経営計画の進捗管理の現状と課題 - 国立 X 大学における年度計画の策定と評価を中心に -, 大学職員論叢, 査読無, 3, 2016, 73-80

〔学会発表〕(計 17 件)

(1) 関隆宏, 公的集計データを用いた大学間比較ことはじめ 新潟大学の事例から, 第 6 回大学情報・機関調査研究集会(MJIR), 2017.8.19, 国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)東京事務所(東京)

(2) 大石哲也, 桑野典子, 高田英一, 関隆宏, 森雅生, 関口正司, 日本の国立大学における経営計画の課題と IR による支援のあり方について グローバル化に関する中期計画を中心に, 第 6 回大学情報・機関調査研究集会(MJIR), 2017.8.19, 国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)東京事務所(東京)

(3) Tetsuya Oishi, Eiichi Takata, Noriko Kuwano, Takahiro Seki, Masao Mori, Masashi Sekiguchi, How can IR Support the Management of Japanese National Universities on the Mid-Term Plan Related to Globalization?, The 17th Annual SEAIR Conference, 2017.9.6, PSB Academy, Singapore

(4) Tetsuya Oishi, Eiichi Takata, Takahiro Seki, Masao Mori, The Results of a Questionnaire Survey about the Present Situation and Problem of Drawing Japanese National Universities Management Plans up by Support of IR, The Seventh Edition of the International Conference “New Perspectives in Science Education, 2018.3.22, Grand Hotel Mediterraneo (Florence, Italy).

(5) 高田英一, 国立大学の教育に関する経営計画の課題と IR の支援のあり方, 日本教育情報学会, 2017.8.27, 甲南大学(兵庫県)

(6) 森雅生, R の視点からのオープンサイエンスへの期待, 第 22 回情報知識学会フォーラム, 2017.12.2, 国立情報学研究所(東京都)

(7)小柏香穂理, 杉原亨, 金川久美子, 北中佑樹, 野口和久, 相原総一郎, 森雅生, 廣川佐千男, ディプロマ・ポリシーと学長・学部長訓示に見る教育の質保証 地域に着目した分析, 第 24 回大学教育研究フォーラム, 2018.3.20, 京都大学(京都府)

(7) 大石哲也, 高田英一, 桑野典子, Web による在学生アンケートの回答率向上に向けた取組, 教育情報学会第 32 回年会, 2016.8.20, 学校法人福山大学宮地茂記念館(広島県・福山市)

(8) 高田英一, IR による内部質保証の実質化の支援の現状と課題 - 大学基準協会のアンケート調査を基に -, 教育情報学会第 32 回年会, 2016.8.20, 学校法人福山大学宮地茂記念館(広島県・福山市)

(9) 大石哲也, 桑野典子, 高田英一, 大学評価情報システムのリプレースに関する実践的報告, 第 5 回 MJIR 研究集会, 2016.7.13, 熊本市国際交流会館(熊本県・熊本市)

(10) Tetsuya Oishi, Noriko Kuwano, Eiichi Takata, Comparison between Two Web Questionnaire Surveys, 5th International Conference on Data Science and Institutional Research (DSIR 2016), 2016.7.13, 熊本市国際交流会館(熊本県・熊本市)

(11) 高田英一, 森雅生, 関隆宏, 大石哲也, 川辺聡史, IR の内部質保証システムへの支援の現状と課題 - 国立大学に対するアンケートを基に -, 第 5 回 MJIR 研究集会, 2016.7.13, 熊本市国際交流会館(熊本県・熊本市)

(12) 関隆宏, 今井博英, 小田美奈子, 新潟大学ファクトブック 2015」の作成について, 第 4 回 IR 実務担当者連絡会, 2016.2.23, 茨城大学(茨城県)

(13) 大石哲也, 森雅生, 高田英一, IR 人材育成カリキュラムの現状と課題 - 九州大学における取組の検証を中心に -, 日本教育情報学会 第 31 回年会 教職開発研究会, 2015.8.30, 茨城大学(茨城県)

(14) 森雅生, 学校基本調査データに基づく大学ベンチマークシステムの実装について, 日本教育情報学会 第 31 回年会 教職開発研究会, 2015.8.30, 茨城大学(茨城県)

(15) 高田英一, 大学職員に求められる経営能力のあり方 経営計画の策定・進捗管理・評価を中心に, 第 4 回 大学情報・機関調査研究集会(MJIR), 2015.7.13, 岡山コンベンションセンター(岡山県)

(16) Tetsuya Oishi, Masao Mori, Eiichi Takata, Introducing common systems among Japanese universities for IR, 4th International Conference on Data Science and Institutional Research, 2015.7.13, 岡山コンベンションセンター(岡山県)

(17) 森雅生, 田中要江, 学生アンケート結果に基づく就職支援の改善への一提案, 第 4 回 大学情報・機関調査研究集会(MJIR), 2015.7.13, 岡山コンベンションセンター(岡山県)

[図書](計 0 件)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

高田 英一(Takata, Eiichi)  
神戸大学・評価室・准教授  
研究者番号: 60336039

### (2) 研究分担者

森 雅生(Mori, Masao)  
東京工業大学・広報・社会連携本部・教授  
研究者番号: 20284549

### (3) 研究分担者

関 隆宏(Seki, Takahiro)  
新潟大学・経営戦略本部・准教授  
研究者番号: 30380546

### (4) 研究分担者

大石 哲也(Oishi, Tetsuya)  
東京工業大学・広報・社会連携本部・特任准教授  
研究者番号: 30552236

### (5) 研究分担者

関口 正司(Sekiguchi, Masashi)  
九州大学・法学研究院・教授  
研究者番号: 60163101

### (6) 研究分担者

桑野 典子(Kuwano, Noriko)  
九州大学・インスティテューショナル・リサーチ室・テクニカルスタッフ  
研究者番号: 00624751